



親睦運動会大成功!

知

念高校の伝統行事である親睦運動会は、全校生徒や兄弟学級(各団)の絆を深めるとともに、学年を超えた交流を図ることを目的として開催されています。

最高学年である3年生が中心となり、衣装やダンスの構成などを自ら考え創り上げることで、クラスはもちろん学年の枠を越えて仲間意識が育まれ、学校生活をより充実させる本校の大きな目玉行事となっています。

今年は当初予定していた7月10日(金)が台風9号接近のため延期となり、さらに予備日としていた7月13日(月)が野球部の県大会準々決勝と重なったことから、7月14日(火)の開催となりました。当日は開会式の後、各団によるダンス発表や学年別競技が行われ、生徒たちは仲間とともに競技や応援に全力で取り組み、夏休み前の充実したひとときを過ごしました。

7月の厳しい暑さの中での開催となりましたが、空き時間は教室で待機するなどの熱中症対策を徹底し、さらに日頃から保健委員会が行っている意識啓発の成果もあって、熱中症となる生徒は一人もいませんでした。

県内の他校にもあまり例を見ない、知念高校ならではの特色ある行事です。これからも生徒たちの創意工夫と自治の力によって、この伝統が後輩たちへと受け継がれていくことを期待しています。



ろうきん・U-18スター応援プロジェクト



沖 縄労働金庫(ろうきん)では、全国・世界で活躍する沖縄の小中高校生(U-18)を発掘し助成金を交付することにより、資金面であきらめていた子どもたちの夢を応援する「ろうきん・U-18スター応援プロジェクト」を実施しています。

今回、知念高校ヨット部3年生の平良海咲さん(与那原中)が見事選ばれ、7月17日(金)に校長室で沖縄労働金庫与那原支店の伊川慎也支店長から贈呈されました。

平良さんからは部員や仲間と努力を重ねて九州優勝を達成し、応援してくれた方々への感謝とともに、助成金をインターハイ関連の備品や活動活性化に活用したいという感謝の言葉がありました。沖縄の子どもたちを応援するろうきんの皆様に心より感謝申し上げます。

数理哲人先生特別授業



学習結社「知恵の館」所属の「覆面の貴講師」数理哲人先生は、「闘う数学、炎の講義」をモットーに、30年以上、大手予備校・数理専門塾・高等学校・司法試験予備校・大学・震災被災地などの現場に立ち続けています。

今回、7月3日(金)に知念高生のために、2年応用クラスの数学のコマで、『数理哲人_燃える数学』として「フィボナッチ数列」の講義を行っていただきました。第一線で活躍する人気講師の授業を体験でき、生徒・先生方に貴重な経験となるとともに、数理哲人先生の、2015年の初の沖縄県の高等学校『ご襲撃』以来、30校目となる記念すべき節目の講義となりました。

また、多くの先生方も参観し、知念高校の職員の素晴らしさを実感し嬉しく思いました。今回貴重な機会を提供していただいた「プリパス」の米谷達也様に心より感謝申し上げます。

